

新しい生活様式の中での暮らし

くらしがば

『新しい生活様式』に合わせて利用者さんをお願いしていることがあります。

- ・マスクを付けましょう。
- ・人とは少し離れて過ごしましょう。

- ・お話は小さな声で。
- ・いろいろなところを触らないようにしましょう。

- ・手洗い、うがいをしましょう。
- ・熱を計りましょう。

・早めに寝ましょう。です。
初めは皆さん戸惑っていましたが、最近は徐々に習慣付いてきているようです。移動支援を活用していた方達は自粛期間中に利用することができず、残念そうにしています。少人数で近くのお店に買い物へ行ったり、散歩へ出かけたがりながら気分転換を

図っています。

ホームあすかでは、ホーム内でかき氷や手作りおやつ会をしたりして、外出できなくても楽しめるようにしました。ホームそらでは、毎月実施していた外出を自粛期間中は中止していましたが、先頃、五ヶ月ぶりに弁当持参で人ごみの少ない山へ行ってきました。コロナウイルスに負けないよう健康に注意しながらも楽しみを持って生活できるようにこれからも工夫して行きたいと思っています。



生活支援員

勤続24年 大槻 香織

ほつとほつと

ほつと

館林邑楽相談支援センターほつとが館林市総合福祉センターの二階に移転して五年半が経過しました。今年初めより世界中で流行している新型コロナウイルス感染症防止のために、日々の検温や、訪問から帰ってきた際に手洗いなどが徹底するなど職員一人一人が感染防止に努めています。総合福祉センターも入館制限をとっています。面談を行う際には館内の別室でソーシャルディスタンスを保ち行っております。

な相談支援を通じて一人ひとりのご希望する生活に向けて支援を行っています。

様々な相談に関わらせて頂いている中で、相談者の希望に沿う形で支援が出来る時もあるれば、思うように進まないこともあります。その時は、一度立ち止まり、別の視点から目標や課題を見直してみたり、関係機関の方々に協力して頂き、相談者が望む地域生活に近づいていけるように連携を図っています。

ほつとは障がいをお持ちの方やそのご家族の日常生活上の困り事や悩み事などの相談を受けて、関係機関と連携を取りながら、福祉サービスの紹介や利用の調整など、様々

相談支援専門員

勤続6年 千葉 克真